

みんなのポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

(スア・ムオン) カム・オアイ家霊簿 (日本語訳・校注)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 樫永, 真佐夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00001410

2 「(スア・ムオン) カム・オアイ家霊簿」

この文書は、ムオン・ムアツのモ・ムオンであったハー・ヴァン・ナム (m1 m2 b m1 m) [没年1980年頃, 享年93] がカム・オアイの祖先をまつる儀礼, ムオンの祭礼を取り仕切るために、モ・ムオンが唱える文句を記した文書『セン・パーン・パイン (ixj 16 m6)』の一部である。ハー・ヴァン・ナムの筆によるという追記は文書にはない。この文書がハー・ヴァン・ナム筆であるとは、ハノイ在住のカム・ブン・オアイの孫で、現物を所蔵しているカム・チョン (Cầm Trọng) の言による。

文書『セン・パーン・パイン』の現物は、ゾー (dó) すなわち鼠皮樹を原料とする紙の線装本で、縦15cm×横24.3cmである。かつて筆者が他稿で縦13cm×横20cm [樫永 2000:178] と記したのは誤りである。毛筆、墨を用いて横書きに記されている。茶がらで防腐加工が施された表裏の表紙を除き、全32葉である。各葉には、まっすぐに記すためのものと思われる折り目が文字の下に沿って残っている。

セン・パーン・パインとは「鎮魂儀礼」と訳せようか。『セン・パーン・パイン』は、「スア・ムオン (ixj 16)」とよばれる各部からなる [Cầm và Phan 1995:389]。この文書の記述者ハー・ヴァン・ナムは「スア・ムオン」12部を記述し終えたあと、余剰の白紙部分を使って、裏表紙の側からカム・オアイの親族に関するメモを書きとめている。さらに文書の数葉が引きちぎられているのは、無記入の頁を取り除いた痕跡であろう。

セン・パーン・パインを構成する12の「スア・ムオン」のうち、「第10」がここで紹介する「カム・ブン・オアイ公の祭堂におけるセン・パーン・パイン」である。そして、この第10を「カム・オアイの家霊簿」とよんでいる。文書全33葉のうち5葉を占め、ハー・ヴァン・ナムが付したと思われる頁番号でいえば、第38~48頁 (計11頁) にあたる。

カム・チョンによると、この文書はモ・ムオンであったハー・ヴァン・ナムによって記述された。ただしその後の管理については、カム・チョンの回答は一貫していなかった。この文書はプー・チャウ・カム・タン (ye n1j n m16) という役職者が管理していて、儀礼や祭礼のたびに、モ・ムオンがプー・チャウ・カム・タンから『セン・パーン・パイン』を拝借して、儀礼や祭礼を執行したと答えたこともあれば、ハー・ヴァン・ナム自身が儀礼執行のために管理していたと答えたこともあった。この文書は、カム・チョンによると、この文書はカム・オアイの息子でありカム・チョンの父であるカム・ビン (Cầm Vinh) [1907-1988] からカム・チョンが受け継いだ。カム・ビンは、ムオン・ムアツのプー・チャウ・カム・タンから1953年頃譲り受けたのだという。

プー・チャウ・カム・タンはコイ村 (現 bản Cơi xã Chiềng Mai huyện Mai Sơn) に居住していた。首領はプー・チャウ・カム・タンと偶然なりとも会うこと、その名を

口にすることは不吉とされたため、この文書を保管していたかもしれないプー・チャウ・カム・タンの個人名をカム・チョンも知らない。プー・チャウ・カム・タンが亡くなったのは、カム・ビンの没後まもなくである。用事でコイ村にいたカム・チョンが知らせを受けて行くと、座したまま静かに息を引き取ったところであったという。

第10)

カム・ブン・オアイ公¹⁾の祭堂²⁾におけるセン・パーン・パイン
(モ)³⁾〈1〉 1⁴⁾, カム・チョム公⁵⁾婦人⁶⁾ カム・ダー祖妣⁷⁾ カム・スオイ

祖妣カム・トーム

兄君⁸⁾ カム・バーン〈2.1〉 2, 祖考カム・イン⁹⁾ 妣¹⁰⁾ カム・ソーン

祖妣カム・ソーン

祖妣カム・チャーイ

-
- 1) 「公」はポー・チャウ (*ŋe ɿŋj*) の訳語である。チャウムオンの首領たるアン・ニャー (*əɿŋe ŋi*) に対する尊称としてしばしば用いられる。アン・ニャー生前はポー・チャウとよび、没後はブー・チャウ (*ŋe ɿŋj*) とよぶ。ポーは父親を示す親族呼称、ブーは父方祖父を示す親族呼称でもある。なお、「カム・ブン・オアイ公の祭堂におけるセン・パーン・パイン」に、ポー・チャウの語はこーカ所しか登場しない。
 - 2) フオン・ホーン (*ɿŋ ɿŋe*) を「祭堂」と訳した。セン・ムオンのときに、首領宅の祭壇側の外に建てられる貴族出自の祖先をまつる霊室のことである。
 - 3) カム・チョンからの聞き取りによると、これはカム・チョン自身による書き込みである。セン・ムオンのときに、まずナーン・モツ・ムオン (*ɿŋ ɿŋ ɿŋ*) という女性の宗教役職者が唱歌して祈祷してから、モ・ムオンの祈祷が始まった。この書き込みは、以下の記述がモによる祈祷の内容であることを示すためのものである。
 - 4) 父祖各人の前にはアラビア数字が付されている。ハー・ヴァン・ナム自身が記したものであろう。
 - 5) 注1にならって、ブー・チャウを「公」と訳す。以下で「公」と訳している箇所はすべてブー・チャウの訳語である。カム・チョムは、カム・オアイの父である。
 - 6) ザー・チャウ (*ŋe ɿŋj*) を正妻を意味する「婦人」と訳した。カム・オアイの実母の名前が最初に来る。
 - 7) ザー (*ŋe*) を「祖妣」と訳した。カム・オアイの母を除くカム・チョムの妻に、この尊称が用いられている。
 - 8) ピー・タオ (*ŋe ɿŋj*) を「兄君」と訳した。未婚のまま亡くなったカム・オアイの兄の名がここに登場する。
 - 9) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注12参照。
 - 10) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注13参照。

〈2.2〉 3, 祖考カム・アイン¹¹⁾

祖妣カム・オーイ¹²⁾

祖妣カム・ファイン

祖妣カム・パイン

祖妣カム・ゾー

〈3〉 4, 祖考カム・ニョット¹³⁾

祖妣カム・ボン

祖妣カム・ブン

〈2.3〉 5, 祖考カム・トーム¹⁴⁾

祖妣カム・グオック

〈2.4〉 6, 祖考カム・ムオン¹⁵⁾

祖妣カム・サイン

祖妣カム・フオン

祖妣カム・ケオ

祖妣カム・ドウック

〈2.5〉 7, 祖考カム・サット

祖妣カム・ゾット

祖妣カム・ハック

〈2.6〉 8, 祖考カム・ブン

祖妣カム・ティアッ

〈2.7〉 9, 祖考カム・グイ

11) カム・インの兄弟か？

12) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注17参照。

13) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注19参照。

14) 「11, カム・パイン」を「クアム・トー・ムオン・ムアッ」にしたがってカム・トームをカム・ニョットの父と解釈すると [Ngô và Cầm 1999 : 197 ; 檜永 2001 : 291], 「5, カム・トーム」から「10, カム・バーン」はカム・ニョットの兄弟という解釈もなりたつ。

15) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注21参照。

〈2.8〉 10, 祖考カム・パーン

祖妣カム・ティア

〈4.1〉 11, 祖考カム・バイン

祖妣カム・スオイ

祖妣カム・チュック

祖妣カム・ニョック

〈4.2〉 12, 祖考カム・イン¹⁶⁾

〈4.3〉 13, 祖考カム・プア¹⁷⁾

〈5.1〉 14, 祖考カム・ホーイ¹⁸⁾

祖妣カム・ヘオ

〈5.2〉 15, 祖考カム・バー¹⁹⁾

祖妣カム・チョック

〈5.3〉 16, 祖考カム・テーン

祖妣カム・オーイ

〈5.4〉 17, 祖考カム・ソーン

祖妣カム・パン

祖妣カム・ティエン

祖妣カム・ソーン

祖妣カム・イー

〈6〉 18, 祖考カム・チュア

祖妣カム・ファウ

16) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注28参照。

17) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注29参照。

18) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注30参照。

19) 「18, カム・チュア」を「クアム・トー・ムオン・ムアツ」にしたがってカム・ホーイの父と解釈すると[Ngô và Cầm 1999 : 193 ; 檜永 2001 : 290], 「15, カム・バー」から「17, カム・ソーン」はカム・ニョットの兄弟という解釈もなりたつ。

〈7〉 19, 祖考カム・バーン²⁰⁾

祖妣カム・シン

〈8〉 20, 祖考カム・ファン

祖妣カム・ヒエン

〈9〉 21, 祖考カム・クエン²¹⁾

祖妣カム・サウ

祖妣カム・ルー

〈10〉 22, 祖考カム・イー

祖妣カム・ソム

祖妣カム・バーン

祖妣カム・ファイン

〈11〉 23, 祖考カム・コーン²²⁾

祖妣カム・ハック

祖妣カム・プア

祖妣カム・プオン

〈12〉 24, 祖考ファー・クン

祖妃ガン

〈13〉 25, 祖考ブン・スン

祖妣カム・チョム

祖妣ガン・チャン

〈14〉 26, 祖考ニョー・ムオン²³⁾

祖妣カム・ト²⁴⁾

20) 「クアム・トー・ムオン・ムアッ」では, 「〈8〉カム・ファン」と「〈7〉カム・バーン」の代が逆になっている [Ngô và Cầm 1999 : 193 ; 樫永 2001 : 290]。

21) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注36参照。

22) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注39参照。

23) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注41参照。

24) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」と同様, ここには ^ㄨ ^ㄣ と記述されているが, カム・チョ

祖妣カム・ミウ

祖妣カム・パイ

〈15〉 27, 祖考ウン・ムオン

祖妣ウン・スオム

〈16〉 28, 勇猛なゾウのごときカム・パイン公, 高位の人²⁵⁾。

祖妃ダー・ガン・チャン

〈17〉 29, 心きめこまやかな²⁶⁾ カム・ケオ公, 高位の人。

婦人祖妃²⁷⁾ ポーン・マーン・ヴオン

〈18〉 30, 窓の前を横切る姿に女性たちも見とれるカム・ティエン・コーン・ター・バー
イ公²⁸⁾

婦人祖妃ニョット・ムオン

〈19〉 31, 心ふくよかなズオン・カム公, 高位の人。

祖妃ウオ・ガン・トーン²⁹⁾

〈20.1〉 32, ティエン・コーン・リン・ヒー・ダン・ムオン公³⁰⁾ には, 女性たちもぴっ
たり寄り添う。33, タオ・ニー・タ・ガン公³¹⁾

婦人祖妃オック

ンにしたがって *ñ nən* と翻字した。「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注42参照。

25) ここから先の祖先に関しては, その人となりを示す形容が加わる。

26) 直訳すれば, ほどよく細々とした鎖状のもの (*xeŋj(xmʰwɔ)*) という意味である。穏やかな人となりを形容していると思われる。

27) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注45参照。

28) ティエン・コーン・ター・バーイ (*n̄eəu n̄e viŋj*) とは, 穏やかに船がこぎすすむことを意味し, 歩くさまの優雅さを形容している。「啓定二年カム・オアイ家霊簿」ではビツ・バーイが用いられている。また「クアム・トー・ムオン・ムアツ」には, カム・ケオとズオン・カムの間に, カム・ムット (*ñ m̄n*), アーイ・テム・ムオンという2祖の名がある [Ngô và Cầm 1999: 191; 樫永 2001: 289]。「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注47参照。

29) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注51参照。

30) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注52参照。ティエン・コーン・リン・ヒー・ダン・ムオンとは「温厚だが, 雄弁雷のごとし」という諺。

31) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注53参照。

妃セーン

妃ムアッ・ローン・サーン³²⁾

〈20.2〉 34, 祖考カム・ソーイ³³⁾

祖妣カム・ラーイ

〈21〉 35, 高主, 祖考タ・カム

婦人ニー・ナーン・ラーイ³⁴⁾

婦人祖妃ロム・クイ・クアック³⁵⁾

〈22〉 36, 雷がとどろき嵐がおこるタオ・ロー・レップ公は, 才能あまる³⁶⁾ コブラである。

婦人祖妃ウオイ・トゥオイ・レット・カウ・コーン³⁷⁾ は, 黄金の細い柱のようで,
まるで天の光の糸³⁸⁾のごとく目にまばゆい。

〈23〉 37, 声の大きいタオ・クアッ公は, ムオン・ムオイとムオン・ラーの2ムオンを
強引に食邑し, その兵は, ムオン・ファッの盆地でラオを舟で迎撃した。凶作の年
にキンの国に行かねばならず, 船を漕いでタ・パーン, ターン・アーン³⁹⁾を通った。
公が窓の前に座すのに, 以下の2人が寄り添った。

妃アーン・ズア⁴⁰⁾

〈24〉 38, チュオン・トーン・タオ・チュン公。水かさが増してついにあふれ出てミズ
チ⁴¹⁾が顕現する。

婦人祖妃ウオイ

〈25〉 39, タオ・クアッ・ラーン公

32) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注54参照。

33) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注55参照。

34) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注58参照。

35) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注59参照。

36) ターイ・カオ (ᨶᩣ᩠ᨾᩣ) の訳語である。キン語の tòi cao (高才) で, ここでは「才能あまる」と訳した。

37) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注62参照。

38) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注65参照。

39) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注69参照。

40) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注70参照。

41) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注72参照。

婦人祖妃トゥン・ルオン・ダオ⁴²⁾

〈26〉40, 赤, 黄色の錦で飾ったタオ・トンは高位の人。

婦人祖妃トゥオン・ダオ

婦人祖妃タオ・ムオン⁴³⁾

〈27〉41, ゴム・フォンの花⁴⁴⁾ のごとき長チョンは, ムオン・口の長にも匹敵する。黄金1万のごとく腰が⁴⁵⁾ くびれていて⁴⁶⁾, 目にまばゆい様子は, さながら霧のかかった岩山のようなのである。

婦人祖妃ウオイ・チャーン・ファ

〈28.1〉42, 記憶力抜群の長カム・ラー公のように, 脚が肥え⁴⁷⁾, しっかりした家が建ちますように! 大きな幸甚がムオンをあたたく包みますように!

婦人ナーン・チット・ルオンが連れ添った。

〈-〉43, 高人たるタオ・チエウ公⁴⁸⁾ はすぐれて千の太刀を握ることができた。悪者を斥け首を刎ねるので, たくさんのムオンがかしずいた。

婦人祖妃ケオ・チュム・カム⁴⁹⁾ は, 芳香がつつむ山の麓のよう。

〈-〉44, ムオン・タインの頭首を嗣いだカーン公は, 「ムオンの柱」⁵⁰⁾ を占める者。

42) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注73参照。

43) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注75参照。

44) キン語で *hoa ngoc lan* というランの花の一種である。

45) 腰という単語は, エオ (uəʔ) とイエウ (əʔ), 2通りの表記が可能で, 話し言葉でもいずれの発音でもいい。

46) 植民地期までひょうたん型にくびれた黄金を通貨や財として用いていたので, 腰がくびれている様子を黄金にたとえているのである。

47) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注76参照。

48) 「クアム・トー・ムオン・ムオイ」に次のように記されている。「サイ・チャーン公も妻をめとって, タオ・カーン (uɔj ʔuɛ), タオ・カム (uɔj ʔ) という名の子を得た。この2人は父を同じくする兄弟であった。タオ・バーン公も死に, それからタオ・カーン公も妻をめとって, タオ・チエウ (uɔj ʔ) という名の子を得た。彼はタオ・カムとは叔父と甥の間柄である。弟のタオ・カム公は, カム (uɔ ʔ) という名の妻をめとってタオ・チョン (uɔj ʔ) という名の子を得た」[樫永 2003: 174]。この記述から, タオ・カーンとタオ・チエウは親子と判断される。

49) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注83参照。

50) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注85参照。

〈29〉45, サイ・チャーン公

〈30?〉⁵¹⁾ 46, タオ・パーン公は猛者, 人にまさる。

婦人祖妃パー・ガーム

婦人祖妃アーン・オック

婦人祖妃アイン・オーン⁵²⁾

〈32〉47, クン・ムン公が3回叫べば, ゾウも振り向く。

〈33〉48, 後継⁵³⁾ クン・ペー公⁵⁴⁾

〈34〉49, 始祖ラン・チュオン大公は大君⁵⁵⁾ であり, ムオンを攻めて貢納させた。

齢⁵⁶⁾ 尽きて, たくさん掛け竿⁵⁷⁾ をかけて布団に横たわる⁵⁸⁾。それぞれのかけ竿には, 幾条もの龍の彫刻が施されている。いにしえから⁵⁹⁾ の各大君たち⁶⁰⁾ よ! 爵位高く職権強大な⁶¹⁾ 長の座につき, ムオンを攻めて, 多くの地を平伏させた主たる人たちよ! (祖先たちが) 手で水を掬えば, たくさんの海の波が静まったように, 子孫⁶²⁾ が君主となってムオンを占めた。どうかお助け願います! (悪い靈に) 取り憑かれて, 黄ばんで衰弱してしまわぬように!⁶³⁾

51) 「クアム・トー・ムオン・ムアッ」[樫永 2001:287] には, タオ・パーンの名前はな
いが, 「クアム・トー・ムオン・ムオイ」には「ナン・ガーム (u16 61u) という名の妻を娶っ
て, サイ・チャーンという名の子を得た」[樫永 2003:174] とある。

52) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注87参照。

53) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注89参照。

54) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注90参照。

55) クン・ルオン (u16 u17) を「大君」と訳した。クンという語は, タイ系文化圏では
高位の職位や, そうした人への尊称にしばしば用いられるが, 漢語「君」が起源であろう。

56) tuoi (m17) というキン語が用いられている。

57) 寝所のカーテンをつるす竿のことである。

58) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注94参照。

59) 熟語 u16 u17 u18 の訳語である。

60) ここでは, 上に名前を挙げなかった祖先すべてに対して呼びかけているのである。

61) u16 u17 u18 は, キン語 chức tước cao cường である。漢字を当てれば, 「職爵
高強」となる。

62) カム・オアイ公のことである。

63) 病気になるのは悪い靈に取り憑かれるからだという信仰に基づく。カム・オアイを悪靈
から守ってください, という意味である。

主たる子孫⁶⁴⁾ も長の座につき長い年月を経た。先代たちと同じく、今に至るまで、どの時代も主⁶⁵⁾ が長の座につき、代々が嗣ぎ連なってきた。ムオンの長の支族の人たち⁶⁶⁾ は、今でもたくさんの波止場にきて、そこからたくさんのムオンを遊行する。ムオンの長の大支族⁶⁷⁾ の精霊は家から外に出て、兄弟の支族⁶⁸⁾ もたくさんの人を訪ねてまわるんですよ。

祈祷が及ばなかった祖考祖妣の方々、お取り分けしますから、あせらずお待ちになってください。酒とご飯の椀をお与えしますから一緒にお食べになってください⁶⁹⁾。プタ、水牛の肉の食卓をお与えしますから一緒にお食べになってください⁷⁰⁾。一緒にお食べになって、お助けください。ともに食事をして、加護を願います。高位の人⁷¹⁾ の皿から食べて愉快になってください。読経する者⁷²⁾ の皿から食べて楽しんでください。

ビンロウジとキンマの皿に銀をお供えしましょう⁷³⁾。モは5バック⁷⁴⁾、ラム・ポン⁷⁵⁾ は4バック、チャーン⁷⁶⁾ は4バック、酒汲み係⁷⁷⁾ は4バックですよ。

64) カム・オアイのことである。

65) カム・オアイのことである。

66) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注105参照。

67) ここではフィー・バーンを「支族の精霊 ($\check{\alpha}\check{\nu}i6$)」と訳した。上の注参照。

68) ここではバーを「支族」と訳した。注66参照。

69) 「啓定二年カム・オアイ家霊簿」注108参照。

70) こことも上と同様に、 $\check{\nu}ij \hat{\nu} \check{\nu}6$ は $\check{\nu}ij \hat{\nu} \check{\nu}6 (\check{\nu}e\check{\nu}ie)$ であり、すべての家霊を食事に招くことを意味している。

71) カム・オアイのことである。

72) モ・ムオンのことである。

73) 以下通りの額の銀を、以下の役職者が、それぞれの役職者を守護する精霊のために出合うのである。

74) 1,000フォン ($\check{\alpha}u$) = 100バック ($\check{\nu}in$) = 10ピア ($\check{\nu}j$) = 1 ポン ($\check{\nu}6$) であり、8ピア = 1 kg に相当する。つまり、1ピア = 0.125kg、1ポン = 1.25kg である。

75) ラム・ポンはセン・ムオンの開催をムオン全体に告知知らせる役割をなす。

76) モ・ムオンの補佐して、祭礼を執行する。

77) 宴会で奉仕する。

